



図書館だより

2024年3月号
徳島北高等学校図書委員会



春休みの特別貸出実施中

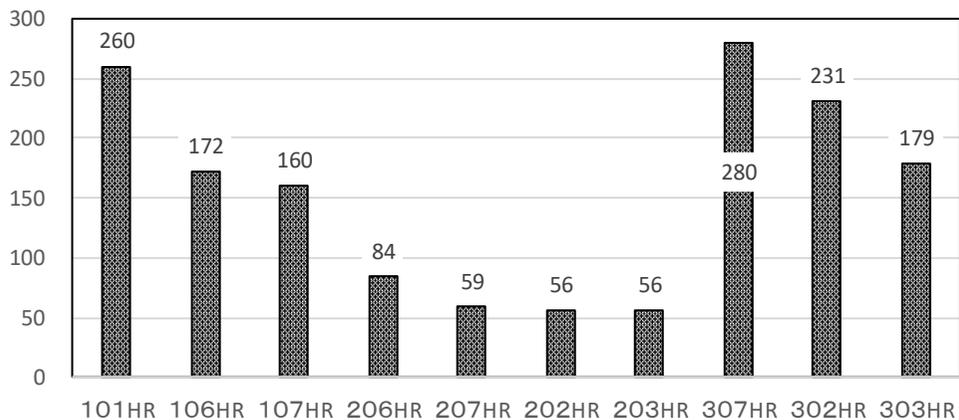
一人10冊まで……春休みには様々なジャンルの本を読もう!
4月8日(月)始業式まで貸出

- ・返却の督促状が届いている場合は、速やかに返却してください。
- ・貸出期間を超えて借りたい場合は、必ず延滞の手続きをしてください。

図書館は春休み原則閉館です

- ・図書館を利用して幅広い本を読み、**学力の基盤**を作りましょう。また、自分の中の世界をより広げて**心豊かな生活**を送りましょう。

学年別クラス別貸出冊数BEST3(4~2月)



各学年の貸出総数 1年 916冊 2年 314冊 3年 1164冊

- ・みなさんの成績の評価の観点のひとつに「**思考・判断・表現**」があります。授業の中だけでなく、読書で楽しみながらこの力をつけていきましょう。**表現力や語彙力の養成**に読書は有効です。分からない言葉や新たな表現に出会うには読書が一番の近道です。**習慣的な読書で成績アップ**をめざしましょう。

- ・本を探すときには**司書の先生**に気軽に声をかけましょう。おすすめの本や面白い本を教えてください。司書の先生は本のプロです!うまく説明しようと気負わなくても大丈夫。「こんなことを調べたい」とか「こんな話題が載っていた本」などの手掛かりでピッタリの本を勧められます。

◆◆◆◆◆この春読むのにおすすめの本◆◆◆◆◆

春休みは進級の時期で、落ち着かないことも多いかもしれません。そんな時こそ、本の世界に没頭して楽しんだり、現実の生活のヒントをもらったりしてみませんか。おすすめの本を紹介します。紹介した本は全て本校図書館に所蔵の本です。

★「吉野北高校図書委員会」山本渚(著)

なんとなく本校に似た名前の高校は徳島にあるという設定で図書委員たちが主役の小説。登場人物の悩みも喜びも、高校生のみなさんには共感できる点も多いことでしょう。会話に織り込まれる阿波弁も徳島県出身の作者ならではのリアリティがあり、さらに身近に感じられるでしょう。現役徳島県高校生のみなさんにこそ勧めたい一冊。

★「品格語辞典」大修館書店編集部(編)

推しの魅力を語るのに「ヤバい」としか言えない人はいませんか?的確に思いを表現しようとするどぶつかる語彙の壁。言葉の意味は辞書を調べればわかるけれど、「どう言えばいいのか」を教えてくれる辞書はありません。小論文などの改まった文章を書く時はなおさら語彙に詰まりがち。その前にこの本を読んで「こんな言い方があるんだ!」という体験をしておきましょう。国語の教科書や国語辞典を発行する書店ならではの、細やかな説明が秀逸です。

司書のおすすめ本!

★「きみのお金は誰のため」田内学(著)

中学2年生の優斗が投資銀行で働く七海と一緒に、投資で莫大な富を築いた"ボス"からお金の正体について学んでいく…というストーリー。小説の形式で書かれていますが、話の中で登場する経済知識は作り話ではありません。読んでいる途中で、優斗たちと同じように「こんなのは綺麗事だ」と感じるかもしれませんが、どうか投げ出さないでください。また、この本にはアフリカの国ガーナの支援活動に取り組む人物も登場します。経済だけでなく発展途上国の支援に興味がある人にも、この本を読んでもらいたいと思います。

小論文のはじめの一冊に

小論文という授業はありません。知識と個々の考えを総合的に判断される小論文という入試科目は、一斉に学べない分、最も多くの準備を必要とするともいえるでしょう。インターネットで調べれば何でもわかると思いがちですが、それが信用に足る情報かどうかはわかりません。また、知識がないと自分の考えも持てません。まずは自分の関心のある分野だけでも注目の話題は何か、どのような考えがあるか調べておきましょう。「どう書くか」も大事ですが、「何を書くか」の蓄積には時間がかかります。始めるのに早すぎることはありません。

★岩波ブックレット(小論文コーナーだけでなんと160冊配架!)

さまざまな領域で活躍している第一人者が、問題の本質をコンパクトにわかりやすくまとめてくれています。文化・社会的なテーマや、自然科学や技術的なテーマなどを網羅し、最新の話から典型的・入門的な内容まで多岐にわたります。平均60ページの超コンパクトなシリーズ。小論文の題材集めや調べ学習にも活用しやすいシリーズです。